

2019 年度 2 次試験 事例Ⅲ 解答

第 1 問 (配点 20 点)

強	み	は	、	自	社	で	①	設	計	か	ら	熟	処	理	工	程	お	よ	び
多	品	種	少	量	の	機	械	加	工	工	程	ま	で	の	技	術	を	蓄	積
し	て	い	る	こ	と	、	②	高	品	質	を	維	持	で	き	る	高	い	技
能	を	持	つ	社	員	が	存	在	す	る	こ	と	で	あ	る	。			

第 2 問 (配点 20 点)

効	果	は	、	設	備	導	入	・	工	程	レ	イ	ア	ウ	ト	設	計	や	作
業	の	改	善	が	進	み	、	C	社	に	な	い	量	産	体	制	の	ノ	ウ
ハ	ウ	が	獲	得	で	き	る	。	リ	ス	ク	は	、	後	工	程	引	取	方
式	と	従	来	の	生	産	計	画	立	案	と	差	立	方	式	の	並	行	運
用	に	よ	る	納	期	遅	延	等	混	乱	を	招	く	可	能	性	で	あ	る

第 3 問 (配点 40 点)

(設問 1)

新	工	場	の	在	り	方	は	、	受	注	量	が	2	倍	に	な	り	5	工
程	に	な	る	こ	と	か	ら	①	工	程	設	計	・	作	業	設	計	を	行
う	と	と	も	に	、	作	業	標	準	化	・	作	業	方	法	の	教	育	を
実	施	し	て	、	人	時	生	産	性	を	高	め	る	。	②	量	産	化	に
対	応	で	き	る	工	場	レ	イ	ア	ウ	ト	策	定	・	適	切	な	設	備
選	定	に	よ	り	設	備	生	産	性	を	高	め	る	こ	と	で	あ	る	。

(設問 2)

生	産	管	理	上	の	検	討	は	、	過	剰	在	庫	お	よ	び	欠	品	を
防	止	す	る	た	め	に	①	3	カ	月	前	の	内	示	情	報	、	1	カ
月	ご	と	の	見	直	し	情	報	、	納	品	3	日	前	の	外	注	か	ん
ば	ん	に	基	づ	い	た	月	次	生	産	計	画	・	日	次	生	産	計	画
作	成	の	検	討	、	②	現	状	の	日	程	計	画	確	定	時	の	都	度
発	注	を	改	め	、	外	注	か	ん	ば	ん	の	確	定	受	注	情	報	に
対	応	す	る	在	庫	管	理	と	発	注	方	法	を	検	討	す	る	。	

第 4 問 (配点 20 点)

C	社	が	と	る	ベ	き	戦	略	は	、	現	在	C	社	に	な	い	営	業
部	を	新	規	設	立	し	て	、	①	既	存	顧	客	に	対	し	て	は	、
増	強	し	た	機	械	加	工	の	量	産	体	制	に	基	づ	き	機	械	加
工	・	熱	処	理	加	工	の	新	規	受	注	を	図	る	、	②	自	動	車
部	品	加	工	以	外	の	機	械	加	工	・	熱	処	理	加	工	の	ニ	一
ズ	を	発	掘	し	新	規	顧	客	の	受	注	を	目	指	す	。			